

新井透教授 略歴・業績目録



1950(昭和25)年11月生まれ

〔略歴〕

学歴

- 1974(昭和49)年3月 法政大学社会学部卒業
1983(昭和58)年3月 法政大学人文科学研究科(修士課程)
英文学修了
1984(昭和59)年6月 ニューヨーク大学人文科学研究科(修士課程)
英文学専攻中退

職歴

- 1991(平成2)年4月 名古屋市立女子短期大学助教授
(英語、比較文化論他担当)
1996(平成8)年4月 名古屋市立大学人文社会学部
現代社会学科助教授
1999(平成11)年7月 サンフランシスコ州立大学在
外研究員
(2000年3月まで)
2000(平成12)年4月 名古屋市立大学大学院人間文
化研究科
修士課程助教授兼務
2002(平成14)年4月 名古屋市立大学人間文化研究
科教授
2005(平成17)年4月 名古屋市立大学人間文化研究
科
博士後期課程教授兼務(現在
に至る)
(この間、東京電機大学、東京農業大学、法政大学、

立正大学、駒澤大学、東洋大学、愛知県立大学等
で非常勤講師)

学会および社会における活動

日本英文学会、日本アメリカ文学会、日本ウィリア
ム・フォークナー協会、日本移民学会会員、日本英
語文化学会理事

〔業績目録〕

〔著書〕

〈共著〉

1. 1992年7月 『英米文学と言語』ホメロス社
2. 1998年3月 『アメリカ文学の冒険—空間の想
像力』彩流社
3. 2000年5月 『文学的アメリカの闘い—多文化
主義のポリティクス』松柏社
4. 2007年4月 『トランスナショナル・アイデン
ティティと多文化共生—グローバル時代の日系
人』明石書店
5. 2007年8月 『伊藤廣里教授傘寿記念論集』伊
藤廣里傘寿記念論集刊行会

〔翻訳〕

〈共訳〉

1. 1987年7月 Eugene O'Neil『特別な人』法政
大学出版局

〔辞典〕

〈共著〉

1. 1992年10月 『和英口語辞典』朝日出版社
2. 1997年10月 『オスカー・ワイルド事典』
3. 2008年1月 『フォークナー事典』松柏社

〔学術論文〕

〈単著〉

1. 1981年11月 「Absalom, Absalom! の主題と構成」
法政大学大学院英友会『テオリア』第13号
2. 1983年3月 「The Sound and the Furyにおける
Quentinのオブセッション」法政大学英文学会
『英文学誌』第25号
3. 1984年10月 「Light in August における神話の諸
相」法政大学大学院『大学院紀要』第13号
4. 1986年12月 「Faulkner's Absurd Hero: Joe Christmas」
ビビュロス同人会『ビビュロス』第8号
5. 1989年2月 「The Wild Palms—パトスからエー
トスへ」法政大学教養部『紀要』第69号
6. 1990年3月 「William Faulkner, Requiem for a
Nun—苦悩と救済」駒澤大学外国語学部『論
集』第31号

7. 1991年2月「ウィリアム・フォークナーの『ア
ブサロム、アブサロム!』—語りの変容」法政
大学教養部『紀要』第77号
8. 1991年12月「ヴェトナム戦争と女たち—ボビー
・アン・メイスン『イン・カントリー』」英米
文学語学研究会『論集』第4号
9. 1993年3月「祝祭の日々—*The Sun Also Rises*」
名古屋市立女子短期大学『生活文化研究』第4
集
10. 1994年7月「『ドリアン・グレイの肖像』と世
紀末」日本ワイルド協会『ニューズレター』10
11. 1994年11月「ウッドストックの残響—アン・ビ
ーティの世界」名古屋市立女子短期大学『研究
紀要』第53集
12. 1994年12月「フォークナーと黒人—『征服され
ざる人びと』」ビビュロス研究会『英米文学と
言語』第2期4号
13. 1995年6月「奴隷制とアメリカ文化」名古屋
市立女子短期大学『研究紀要』第55集
14. 1996年3月「ハーレム・ルネサンスの光と影」
名古屋市立女子短期大学『研究紀要』第56集
15. 1997年3月「2つのリンチ—ウィリアム・フォ
ークナー「乾いた9月」」名古屋市立大学『人
文社会学部研究紀要』第2号
16. 1998年11月「文学・音楽・歴史—トニ・モリス
ン『ジャズ』」名古屋市立大学『人文社会学部
研究紀要』第5号
17. 2000年10月「インディアン憎悪の形而上学—ウ
ィリアム・フォークナーの「見よ」」日本英語
文化学会『異文化の諸相』第21号
18. 2000年11月「マーギナルマン—John Okada's
No-No Boy」名古屋市立大学『人文社会学部研
究紀要』第9号
19. 2001年3月「境界に生きる—Monica Sone's
Nisei Daughter」名古屋市立大学『人文社会学
部研究紀要』第10号
20. 2002年3月「他者性のスティグマ—*Leslie
Marmon Silko's Ceremony*—」名古屋市立大学
『人文社会学部研究紀要』第12号
21. 2002年12月「“Yonoko's Earthquake” 試論」法
政英語英米文学研究会*Phoebus* 第6号
22. 2004年11月「セクシュアリティと狂気—ミス・
ササガワと強制収容所」名古屋市立大学『人
文社会学部研究紀要』第17号
23. 2006年3月「フォークナーと大衆文化—『サン
クチュアリ』」名古屋市立大学『人文社会学部
研究紀要』第20号
24. 2009年12月「日系カナダ人のディアスポラ—
Joy Kogawa's *Obasan*」名古屋市立大学大学院人
間文化研究科『人間文化研究』第12号